

事業報告書

こども活動

① コムステチャレンジキャンプ 2016 小3～中学生男女

8月1日(土)2日(日)3日(月)

場所：どんころ野外学校（空知郡南富良野町）

指導者：どんころ野外学校の講師 団体構成員3名スタッフ5名

参加費：16,000円

参加者：小学生25名中学生5名

オリエンテーション7月17日(日)

花川北コミュニティセンターで実施

平成28年度子どもゆめ基金助成活動

札幌圏にもチラシを配布し、定員を超える申し込みがあった。
大雨の中でのキャンプだったが、ベリー積みなどの体験も実施。
中学生サポーターも成長し、小学生時代からの参加の高校生の
活躍も見られた。



② いしかりこどもまつり 2016 7月18日(月・祝) 全市民対象

会場：こども未来館内外

指導者こどもまつり実行委員会などスタッフ54名

参加者：子ども1,019名 大人172名 計1,191名

平成28年度子どもゆめ基金助成活動

ピエロパフォーマンス、書道パフォーマンス、綿菓子作り体験
光と色のクラフト、ピエロの学校、お医者さんになってみよう
棒パン作り体験、こころの色展 Jr、こころとからだラボ、
射的体験、こどもの防災力アップコーナー、積み木の城、
こども食堂、みんなでアート、鹿角クラフト。



こどもまつり実行委員が大活躍。実行委員の子ども達も達成感を味わう。

③ ひとりだちクッキング Ver6 小1～小3男女 対象 全5回(7月～11月)

会場：花川北コミュニティーセンター調理室

指導者：竹中リュウ子さんと 補助スタッフ 6名

登録費： 3,000円 食材費：1回 500円

参加者：25名(うち男子10名) 参加率 91%

1回目 たまごやき、そうめんじる、ぶた肉のごまつけやき

2回目 チャーハン、具だくさんみそしる、あまからごぼう

3回目 チューリップずし、だいこんのみそしる

ツナとじゃがいものガレット

4回目 くろ豆のごはん、コーンスープ、ぶた肉てん

5回目 いなりずし、えだまめのおとしあげ

せんべいじる、とうふのごまいりドーナツ

1人ずつたまごやきに挑戦。多彩なメニューにみんな満足。

保護者から感謝のメールや電話をいただく。



④ こども料理教室 和食を知る!の巻 小4～小6男女 対象 全5回(7月～11月)

会場：花川北コミュニティーセンター調理室

指導者：竹中リュウ子さんと補助スタッフ 6名

材料費：1,000円

参加者：20名(うち男子3名) 参加率 93%

平成28年度文化庁伝統親子教室事業

1回目 スティックおにぎり、きゅうりの洋風軍艦サラダ

もちと明太子の春巻き

2回目 いかの松笠焼き、ゴボウの炊き込みご飯

アボカドとエビのサラダ、ほうれん草のごま和え

3回目 四海巻き、鶏ひき肉の食パン揚げ、鯛の岩塩焼き、

5色あられしんじょう汁

4回目 黒豆ごはん、茶碗蒸し、豆腐の白玉フルーツ、煎餅汁

和風ハンバーグ

5回目 松花堂弁当(いかの松笠焼き、鶏ひき肉の食パン揚げ、スティックおにぎり、ほうれん草のごま和え、豆腐の白玉フルーツ)



だし汁をとる、釜での炊飯など、和食の技法を竹中先生より伝授していただく。

参加率も9割を超える高さだった。参加者の6割が、習った料理を家でも作ってみたとうれしいアンケート結果だった。

⑤ ビスケットであそぼう 小3～小6男女 10月8日(土)9日(日)

会場：こども未来館

指導者：合同会社デジタルポケット、原田康德さん、長尾順子さん
スタッフ2名

参加費：1,500円

参加者：1日目20人、2日目17人

平成28年度子どもゆめ基金助成活動

今年で6回目の事業となり、繰り返し参加する子が多くなっている。

レベルを高く設定し、2日間でパズルなどの複雑な動作をするプログラミングや、色・動きなどで芸術性の高い作品を作るなどのワークショップを実施。子どもの柔軟な発想力に毎回驚かされている。



⑥ マナビーバ

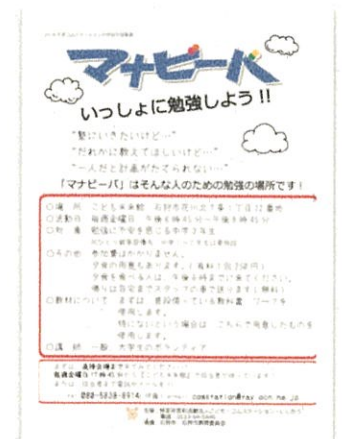
毎週金曜 18時45分～20時45分

(18時～18時45分 食事代1回250円)

ひとり親家庭優先中学3年生が主な対象 登録13名

場所：こども未来館

2016年度からの新規事業として開始。次第に登録人数が増加していった。学習ボランティア5名・食事ボランティア5名・送致ボランティア3名の体制で全39回実施。参加した中学3年生は、全員希望の高校に合格した。



子育て支援事業

① ママパパライン

毎週月曜 13時～16時 祝日、年末年始お休み

受け手1名 支え手2名 事務スタッフ1名の体制で年間23件の電話を受けた。月平均1.9件となる。

全国キャンペーン2017年2月13日(月)～18日(土)

3月18日(土) 国立オリンピック青少年センターで開かれた

「ママパパラインスタッフ全国研修・交流会」に4名参加



② 子育て支援「聴く力」を磨く傾聴講座 10月16日(日)

会場：石狩市民プール2階多目的ホールA

講師：「スマホ・ケータイに関する

子ども若者リアル事情・ワーク」 阿部 学さん

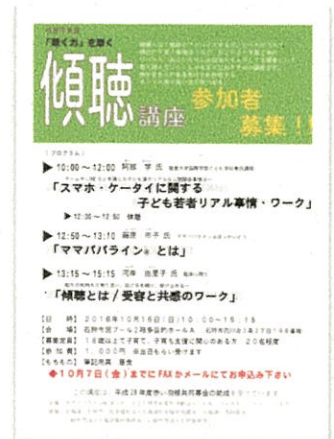
「ママパパラインとは」 藤原 市子さん

「傾聴とは/受容と共感ワーク」 河岸 由里子さん

参加費：1,000円 参加者：延べ20名

平成28年度赤い羽根共同募金助成事業

今回は、ボランティア確保につながるよう、年周知をはかる。



(参考資料)

2016 年度ママパパライン®ほっかいどうのまとめ

2017.3.27

●かけてきた人の内訳(人)

ママ	22
パパ	1
祖母	0
祖父	0
他	0
計	23

●子どもの年齢・性別(重複あり)

0歳	1	男子	8
1歳	1	女子	9
2歳	6	不明	8
3歳～未就学	7		
小学生	10		
中学生	1		
高以上	0		
不明	1		

●かかってきた時間と件数

開設	回数	件数(件)	通話時間(分)	平均通話時間(分)
4月	4	0	0	0
5月	4	2	63	32
6月	4	4	137	34
7月	3	1	36	36
8月	4	2	113	57
9月	3	2	50	25
10月	4	3	30	10
11月	4	2	75	38
12月	3	2	73	37
1月	3	0	0	0
2月	4	4	80	20
3月	3	1	67	67
合計	43	23	724	31

2/13～2/18全国キャンペーン

●内容内訳(件、重複あり)

子ども						本人	夫との関係	舅姑	家族	地域	行政	計
しつけ	発達	教育	健康	食事	生活	7	8	2	2	3	0	34
3	1	4	0	1	3							

- ・中学生の子の部活に親が手伝うことが苦痛
- ・生活が苦しく離乳食が買えない
- ・2人目ができ時間に余裕がなくイライラ
- ・小学生の息子が学校で暴力的な言動をし呼び出された
- ・親戚から親の法事の事でうるさく言われ困っている
- ・引っ越し後の土地の環境になれない(複数)
- ・夫が自分の存在を認めてくれない
- ・夫が相談なく仕事をやめた
- ・夫が発達障害だった
- ・子どもに勉強をさせたいのに夫がゲームをさせる
- ・夫が姑や子どもに対して自分を守ってくれない

傾聴ボランティア養成講座

2016年 10月 16日 (土)

石狩市民プール多目的ホール 延べ48名

□スマホ・ケータイに関する子ども若者リアル事情・ワーク

阿部 学さん

□ママパパラインとは

藤原 市子さん

□傾聴とは 受容と共感のワーク

河岸 由里子さん

③ 10代のベビーシッター養成講座

地域子育て支援拠点りとるきっずの事業にくみこまれているが、講師手配・講座内容などについて支援をした。

9月17日(土) 18日(日) 小5～高校生

会場：石狩市総合保健福祉センターりんくる、こども未来館

会費 600 円

参加者：23名 小学生14名 中学生5名 高校生4名

赤ちゃんボランティア12名(1才～3才)

講師：「誕生学」

吉 裕子さん

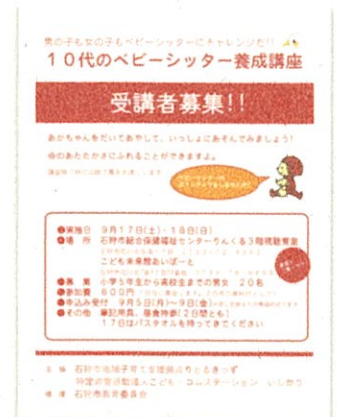
「こどもの心と命の声を聴く自己尊重ワークショップ」

手塚 千砂子さん

今年度も定員を超える申し込みをいただく。

講座修了後、りとるきっずへのベビーシッターボランティアへも

積極的に参加している。今回は男子や、高校生の受講者も多く参加していた。



地域交流

- ・ いしかり子育てネット会議に参加
子育てセミナー、いしかり子育てメッセ2016などの協力
- ・ こども見守りネット参加
- ・ 石狩地域子育て支援拠点連携会議参加(道庁)
- ・ 科学の祭典2016への協力 9月10日(土)
- ・ 石狩市子ども・子育て会議委員

研 修

(職員)

第1回 10月16日(日) 21名参加

「スマホ・ケータイに関する子ども若者リアル事情・ワーク」

講師 阿部 学さん(敬愛大学国際学部こども学科専任講師)

「受容と共感ワーク」

講師 河岸 由里子さん(臨床心理士)

第2回 12月17日(土) 35名参加 職員交流会

第3回 2月19日(日) 37名参加

「子どもとあそび・ボードゲームワーク」

講師 杉本 英樹さん(キンダーリープ店長)



(その他)

- ・ 児童厚生員等基礎研究会（児童厚生 2 級取得）2 名 村林美保（花川北児童館）
小玉香織（こども未来館）
- ・ 全国児童館・児童クラブえひめ大会参加 参加者 9 名
伊藤美由紀、上野祐恵、大城花子、山寄知里、武田幸恵、
奥井瑞穂、野村浩美、山田ゆり子、安藤優子

ホームページでの広報活動

改造できず、前年度のフォームのままになっている。

よりよい広報必須。新年度の課題である。

理事会

年 3 回と臨時理事会(総会打ち合わせ)1 回開催しコムステーションの事業等を支えた。

事務局

局長と事務局員 2 名の 3 人体制で事業管理、資産管理、労務管理をすすめる。

コムステ通信の発行 2 回

・地域子育て支援拠点事業 子育て広場 りとるきっず

講座はフラエクササイズ、人形かご、おっぱい講座、ベビーマッサージなど 16 講座、「だっこらっこ」の預かり 22 組 スタッフ 2 名

「10代のベビーシッター養成講座」

参加費 600 円 参加者 20 名 講師 3 名 スタッフ 3 人



- ・地域子ども教室 2 か所 シップ教室、八幡教室

八幡はクラブの人数が少数のため教室の子どもが加わらないとあそびがなりたないこともあり一体化している。

- ・放課後児童会 10 クラブ

樽川スマイル、なかよし、おおぞら、にこにこ、げんきっ子、ピノキオ、キラキラ、
花っ子、つくし、ファイトキッズ

10 クラブそれぞれ特徴を出してがんばっている。

クラブでは上野指導主任が中心となり、主任会議5回（5月、7月、10月、12月、2月）全員が集まる合同会議3回（6月、11月、2月）開き、職員の研修「小学生がなりやすいけがとその対応法」、意識改革、交流を図っている。

児童館全館でプログラミング事業を毎月実施。

- ・こども未来館 345 日開設 24,705 名の入場
りとるきっず、花っ子クラブのいれる (22,564 名) と

入場者は 47,269 名 団体利用もあり。

様々な事業を組み運営し、たくさんの児童が利用。



- ・花川南児童館 293 日開設 7,520 名の入場

なかよしクラブ、幼児開放の 14,773 名を入れると入場者は 22,293 名
公共の場のルールを知らない児童に対し健全育成論をもって対応している。

- ・花川北児童館 293 日開設 4,468 名の入場

ピノキオクラブ、幼児開放の 9,071 名を入れると 13,539 名
クラブ出身の高学年を中心に利用者が増えている。

- ・ おおぞら児童館 293 日開設 2,269 名入場
・ おおぞらクラブ、幼児開放の 7,596 名を入れると 9,865 名
幼児開放事業ころころが大人気で午前中もにぎわっている。

児童館・子ども教室は 5 回の主任会議（4 月、6 月、8 月、10 月、2 月）を行い職員の研修と交流に努めた。

